

2023年3月期 通期決算説明会 主な質疑応答内容

2023年5月19日（金）に開催致しました、弊社「2023年3月期 通期決算説明会」の主な質疑応答内容について以下に記します。

記載内容につきましては、質疑応答の内容をご理解頂きやすい様、表現の変更や加筆・修正を行っておりますのでご了承下さい。

問1. 2024年3月期業績予想の付加価値増加139億円の内訳を教えてください。

また、数量増についての前提条件を教えてください。

答1. 売上増に伴う付加価値増加が63億円、価格改善が55億円であり、材料費改善も含まれている。

なお、数量増の前提条件としては、主要客先である日系自動車メーカー（四輪）のグローバルでの車両生産台数で、前期比プラス11%としている。

問2. 2024年3月期業績予想の付加価値増加139億円の内訳を、二輪と四輪の割合で教えてください。

答2. 具体的なパーセンテージでは回答できないが、売上高の増加は四輪が大きい。二輪はインドの回復もあり微増を見込んでいる。

問3. この中期経営計画5年での設備投資700億円について、内訳を教えてください。

答3. 中期前半のFY23-24では、種類株式の償還や有利子負債の返済を優先するため約120億円/年に抑制する。

後半のFY25-27では、約150億円/年を主に成長投資に回す見通し。

問4. 拠点再編計画の詳細を教えてください。

答4. 昨今の欧州での地政学リスクの高まりや北米でのコストインフレがあるため、欧州や北米はシュリンクせざるを得ないと考えており、サプライチェーンを見直さなければならぬ。

問5. EV化によるICE製品の縮小・終息のさせ方について教えてください。

答5. 納入責任を果たしつつお客様の理解を得る。事業譲渡や生産委託等も視野に入れながら、この中計の中で実現させていく。

問6. 研究開発投資の計画を教えてください。

答6. 過去は150～180億円/年レベルの投資をしてきたが、前中計では130億円/年レベルに落としてきた。今中計は140億円/年レベルを計画している。

問 7. ホンダでは増産を発表しているが、ミツバではバッファを持った計画となっているか？
また本格的な生産回復は、いつ頃から見込んでいるか？

答 7. 弊社ではホンダ様の生産台数をやや保守的に見込んでいる。
第 1 四半期での回復は厳しいと見ており、中国市場の下振れも通期計画には織り込んでいる。
この事からも、本格的な四輪の生産回復は第 2 四半期以降と見ている。